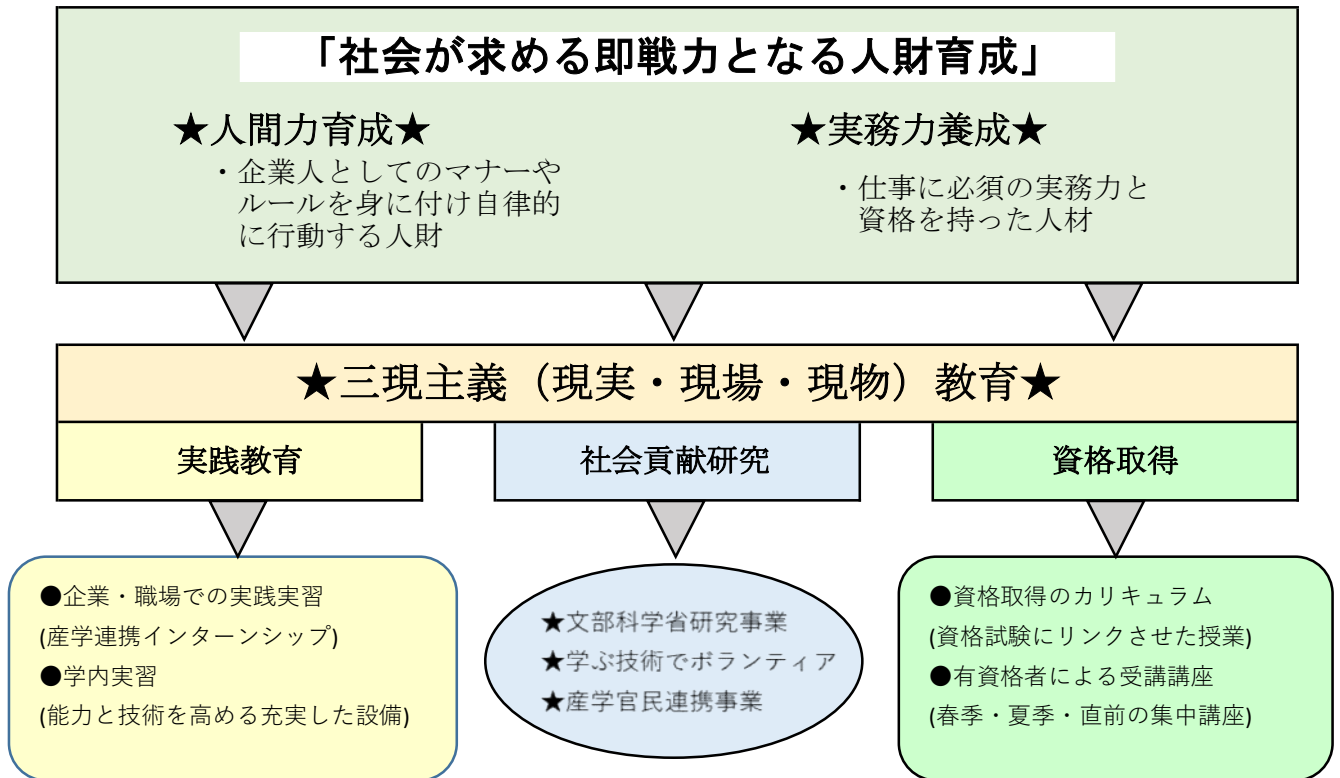
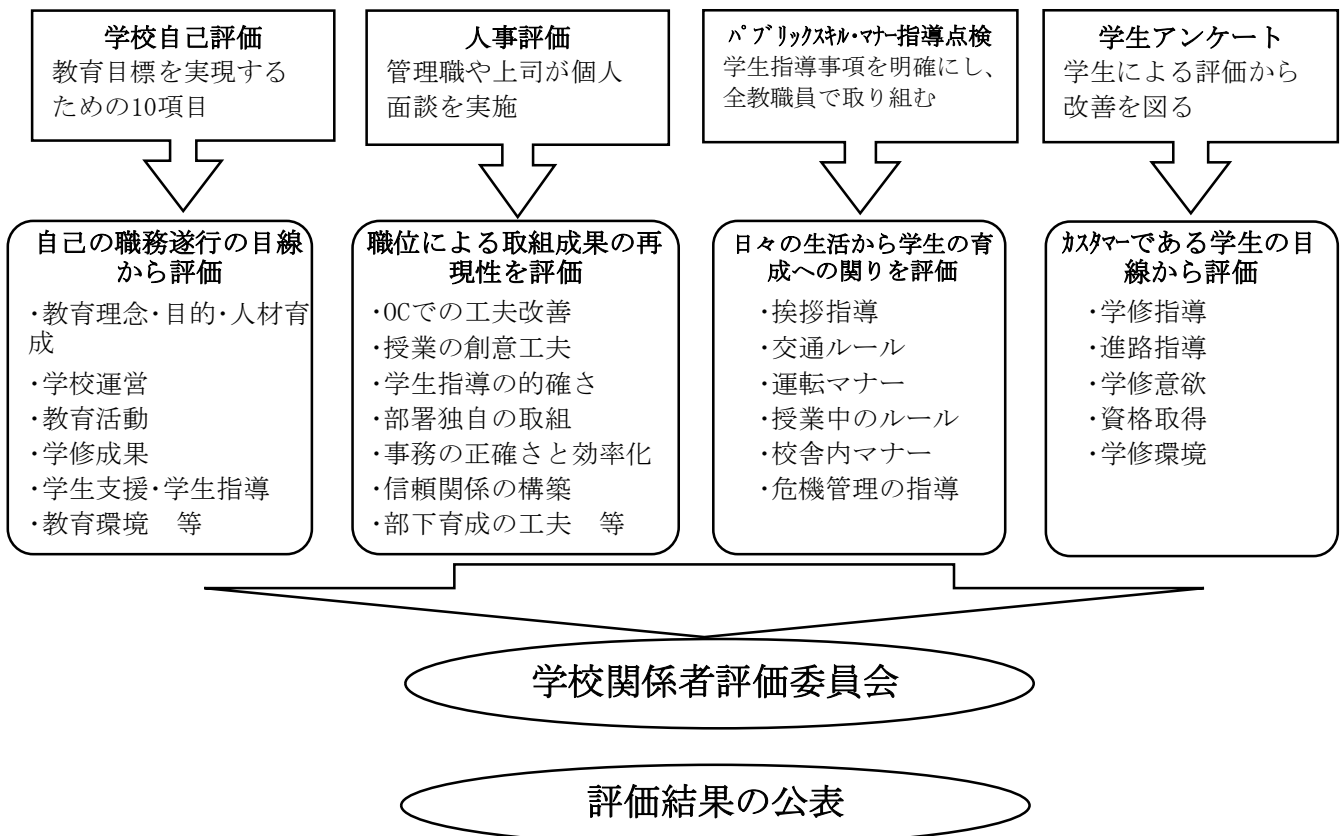


学校法人誠和学院 日本工科大学校

【教育目標】



【多面的な視点による学校評価】



【PDCLA サイクルを踏まえた学校評価】

Plan (計画)

- 経営計画書の策定
経営理念、行動理念、人事理念
- 学校経営基本方針の策定
教育目標、教育計画、各種事務推進計画等
- 学修指導の重点項目やカリキュラムの策定
企業等が参画する教育課程編成委員会の意見を反映
- 改善行程表に基づき改善策を策定・推進

Action (改善)

- 多面的学校評価結果と学校関係者評価を踏まえた改善行程表の作成
- 企業等が参画する教育課程編成委員会で学修指導やカリキュラムの改善の方向性について検討
- 学科・職域組織自己評価及び教職員自己評価の改善（次年度目標設定）

Do (実施)

- 即戦力となる専門性の育成
- 職業人としての人間力の育成
- アクティブラーニング等の指導方法の工夫
- インターンシップの推進
- 企業等と連携した教員の授業力の向上
- 資格取得率を高める工夫 等

Learn (学び)

- 学生アンケートの実施
学生が教職員の授業・進路指導、学修環境などについて意見を聴取する。
- 学校関係者評価委員会の開催
学校自己評価結果を踏まえた改善の方向性についての意見を聴取する。
- ・委員：企業関係者、保護者、卒業生、高校関係者等

Check (点検・評価)

- PDCLAサイクルを踏まえた多面的学校評価の実施
- ・評価①：自己職務評価
各教職員が目標達成に向けての具体的な行動目標を設定し自己評価する。
- ・評価②：職域協働評価
職域ごとに人間力や即戦力などに関する組織目標を設定し、協働した取組みの達成度について自己評価する。
- ・評価③：学校改善自己評価
教職員が学校の教育内容や方法などの改善の必要性について評価する。特に、コアコンピタンスに

2023年度(令和5年度) 学生アンケート

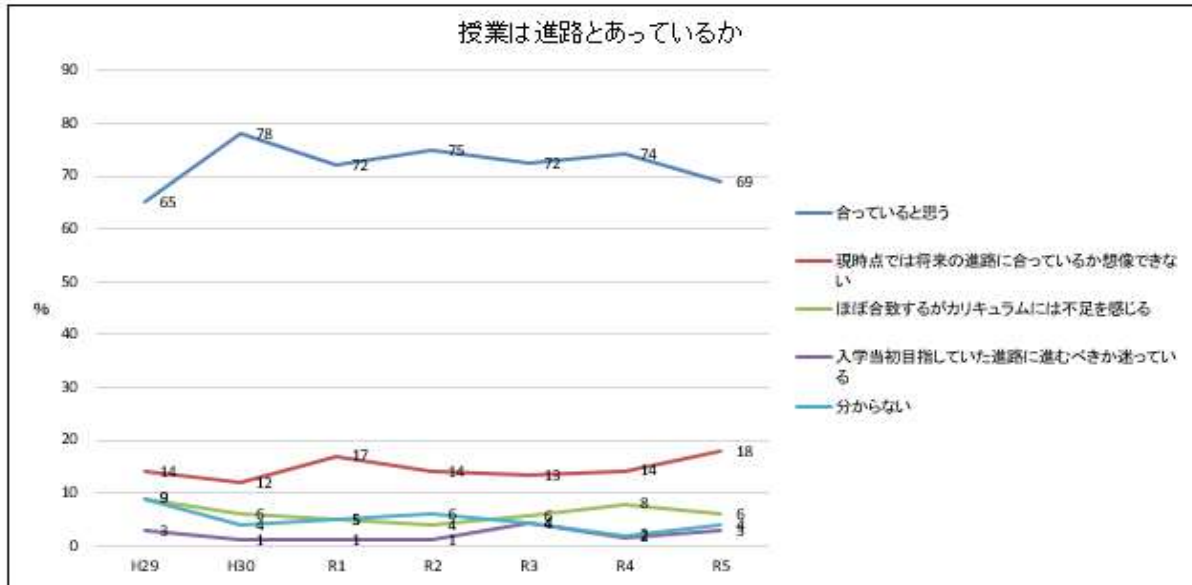
- 1 目的 本校学生の現況を理解して、次への改善につなげる
- 2 内容 毎年、同じ時期(1月末)、同じ内容についてアンケートを取る

日本工科大学校

学生アンケートの項目

1. 授業の構成について
 - 1-1 本校の授業・実習は目指す進路とあっているか
 - 1-2 本校の授業・実習を通して新しい知識を習得できたか
 - 1-3 本校において授業の中で目指す資格試験の数
2. 学校生活について
 - (ア) 学校生活は充実しているか
 - (イ) 出席率
 - (ウ) 授業には積極的に参加したか
 - (エ) 自主学習(複数回答可)
 - (オ) アルバイトをしたか
3. 就職は満足しているか
4. 事務局について
 - ①窓口対応
 - ②電話対応
5. 日本工科を紹介したいか

1-1授業と進路は合っているか



→69%の学生が「合っている」と解答

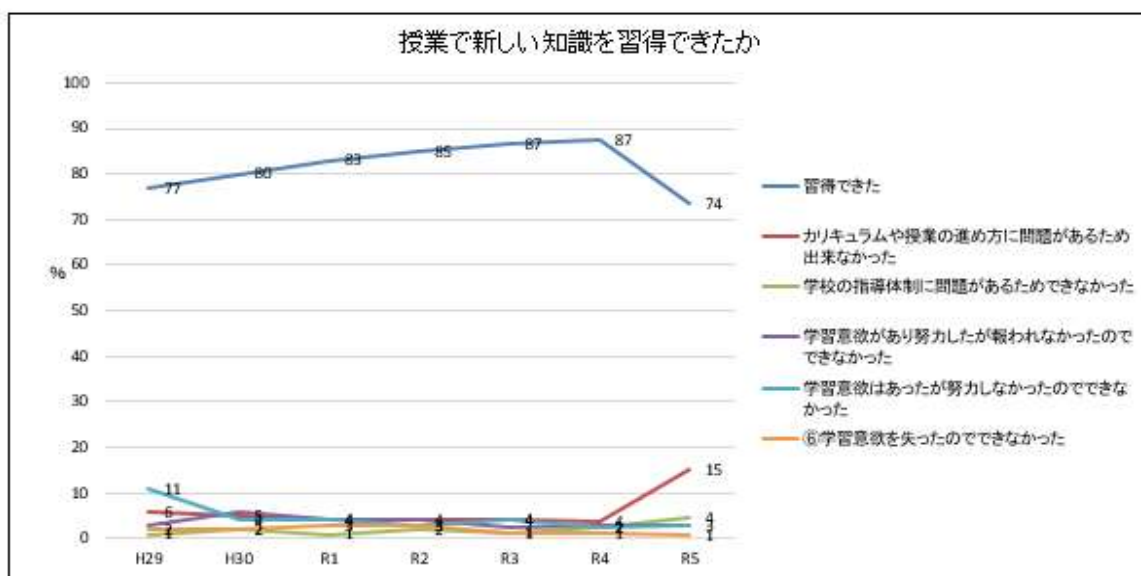
反面「合っているか想像できない」が18%と少し増加

教科書を写すだけで理解しにくい インターンシップが少ない 実習を増やしてほしい 授業のペースが遅い 内容が薄い

建設工学部			
設問番号	課題	背景	具体的な解決策
1-1	設計協会がコロナ以降、インターンシップを実施しなくなったり、サマーインターンシップへの参加割り当てが減少している。	建設業協会や設計協会がコロナ以降、中止となったり短縮の措置をしている。また、安全上の観点から、体験から見学が増えてきた。	→ 個別に設計関係企業や建設業協会へインターンシップの実施をお願いする。
1-1	1年生は座学が多く、黒板を書き写すだけの授業もある。	個々の教員の教材研究や授業準備不足	→ しっかりと授業準備をして視聴覚機器や実物を活用した授業展開も取り入れる。
車体・カスタム自動車工学科			※必要に応じてセルの高さや個数を覚えてください。
設問番号	課題	背景	具体的な解決策
1	もっと他車の解体、塗装をした。	進路内定している学生は内定したメーカーの整備（分解や塗装）がしたい希望者が多い中で実習車のレパトリーが少ない。	→ 実習車は既存の車種を使用し分解・塗装を行ってありますが今後は実習車提供等を呼びかけ、修理レベルの適正を判断しながら行うのもありかと思えます。その際材料費は提供者に負担して頂きます。
自動車工学科			
設問番号	課題	背景	具体的な解決策
1-1	実習でもっと沢山実車に触れる時間を増やして欲しい。	実習で使用する機材や車両が学部・学科ごとに使い分けされているが、学生数、実習スペースの増加に対応できていない。	→ 足りない工具、機器をリストアップし、必要教材の充実を図り、すべての学生が使用できるようにする。4~5月の引越越しに合わせて実施。

AI・ロボット工学科			
設問番号	課 題	背 景	具体的な解決策
1	「授業のペースが遅い」	学生の学的能力の差が激しいため、授業の内容とペースを決めるのは難しい	<ul style="list-style-type: none"> ・学的能力に応じる課題を準備して、提供する。講師（非常勤講師も含めて）勤務年数が短いため経験値をためていく。

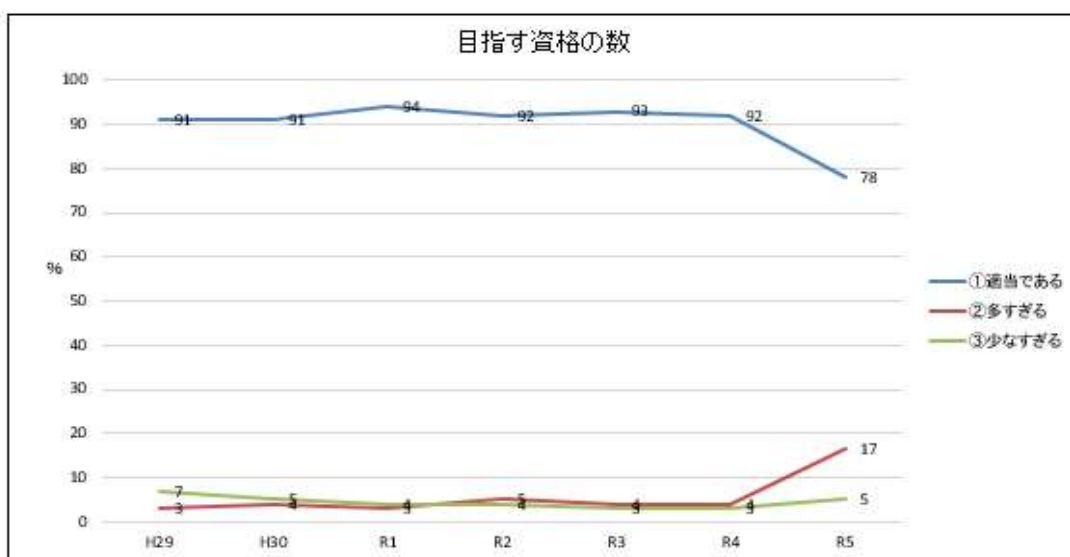
1-2新しい知識を習得できたか



→昨年度に比べ「習得できた」が低下し74%
「カリキュラムや授業の進め方に問題がありできなかった」
が15%と増加

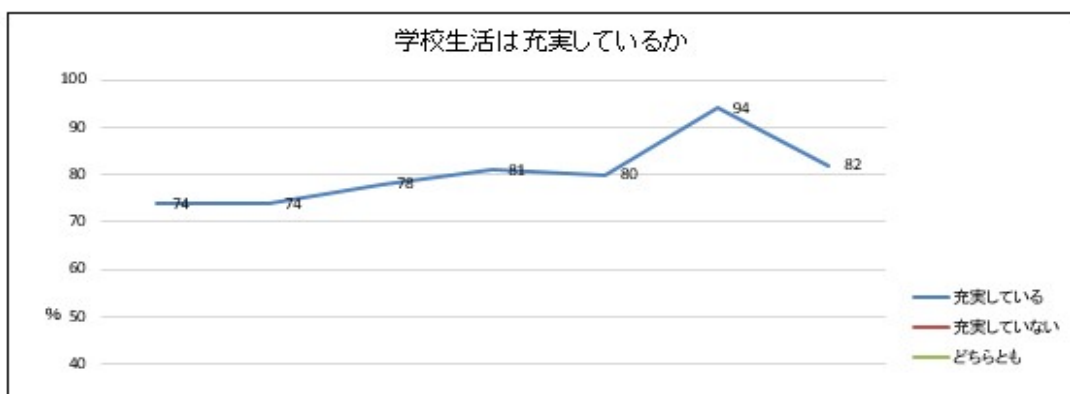
設問番号	課 題	背 景	具体的な解決策
2	「AIをもっと深掘したり解説する授業がほしい」	AI専門講師が1人の非常勤講師しかいないので、AI専門授業が現在一週間一回だけ行われています	<ul style="list-style-type: none"> ・AI専門講師を雇用する。アドバイスとしては、本校とAIエンジニアの年収の乖離があまりに激しいため、年収を近づける。

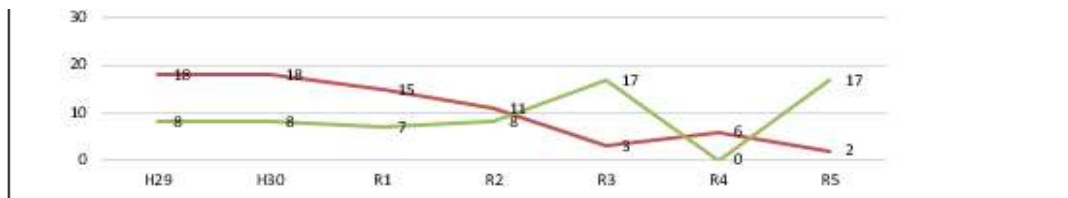
1-3 目指す資格の数



→従来と比較し、「適当である」が低下し78%
「多すぎる」が増加し18%

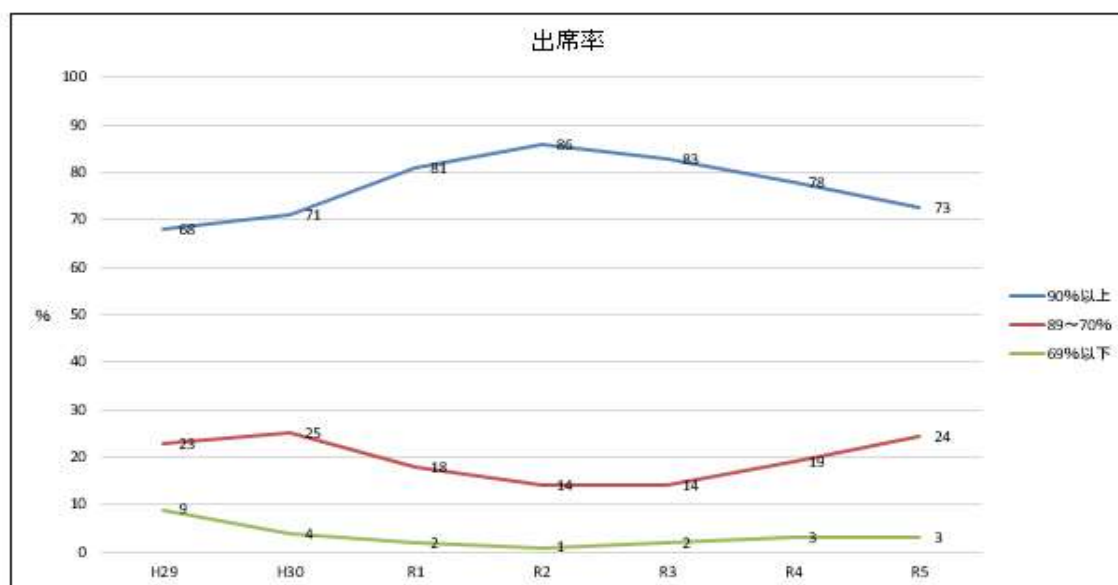
2-(ア) 学校生活は充実しているか





→昨年(2023)に比べ「充実している」が82%に低下
「どちらとも」が増加し17%

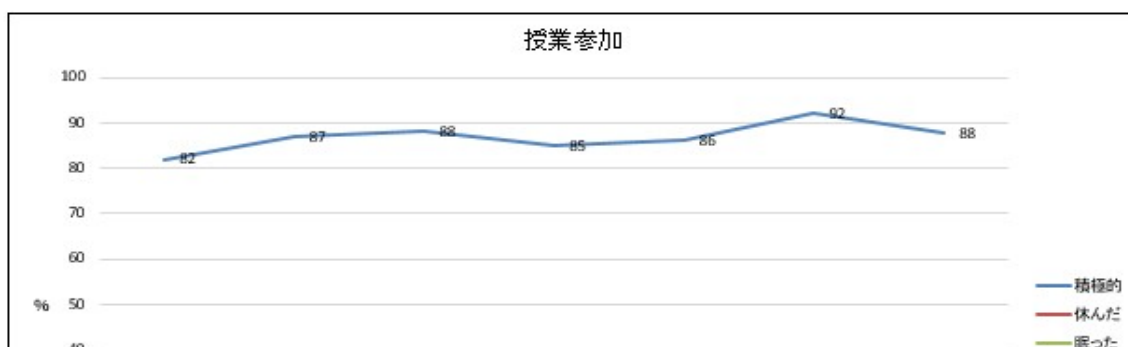
2-(イ)出席率

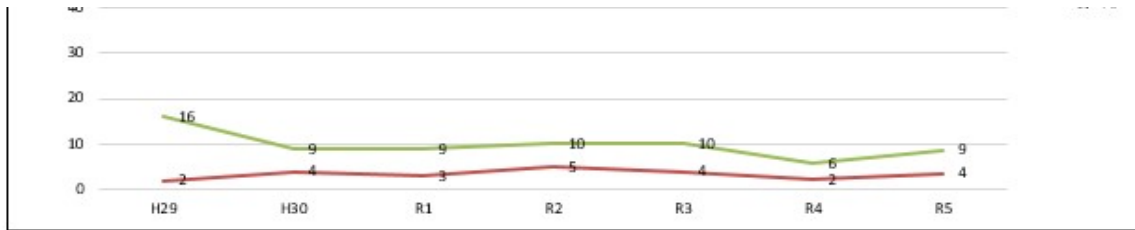


→近年、出席率90%以上の学生が減少傾向
89~70%出席の学生が増加傾向

寝坊 腹痛 風邪 体調不良 コロナ インフルエンザ やる気が出なかった めんどくさい

2-(ウ)授業参加は積極的か

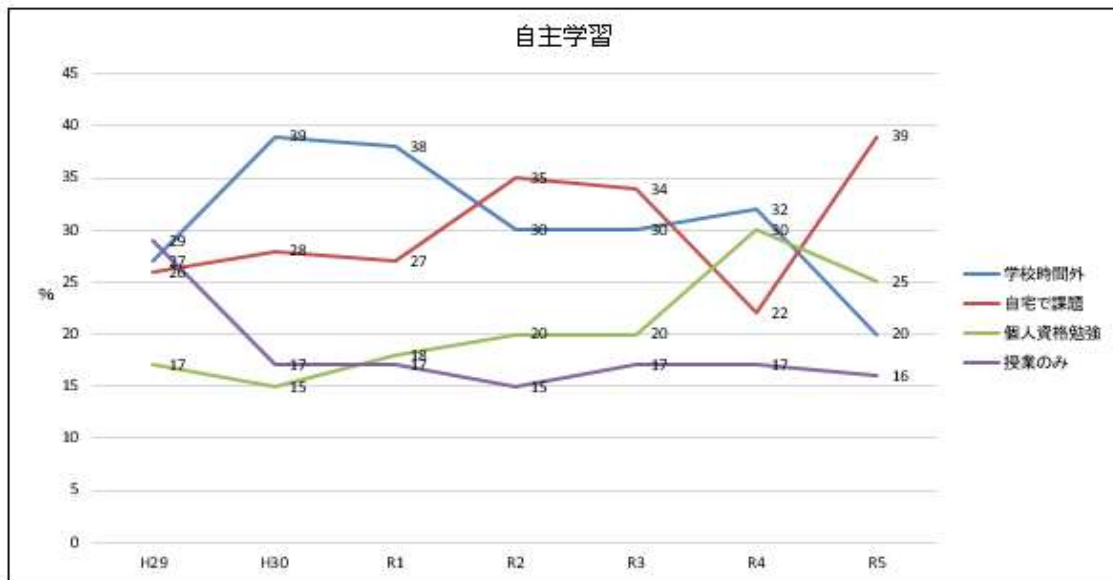




→「積極的」に授業参加している学生は88%

環境建設80%,マイ改-100%,専攻科100%,自動車81%,車体・改改94%,一級83%,AI71%

2-(エ)自主学習

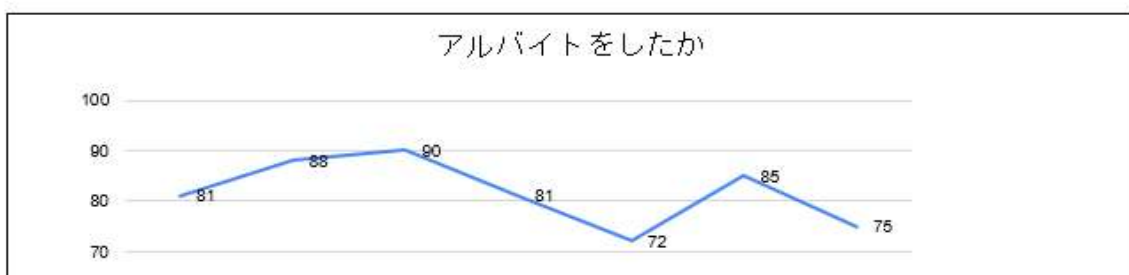


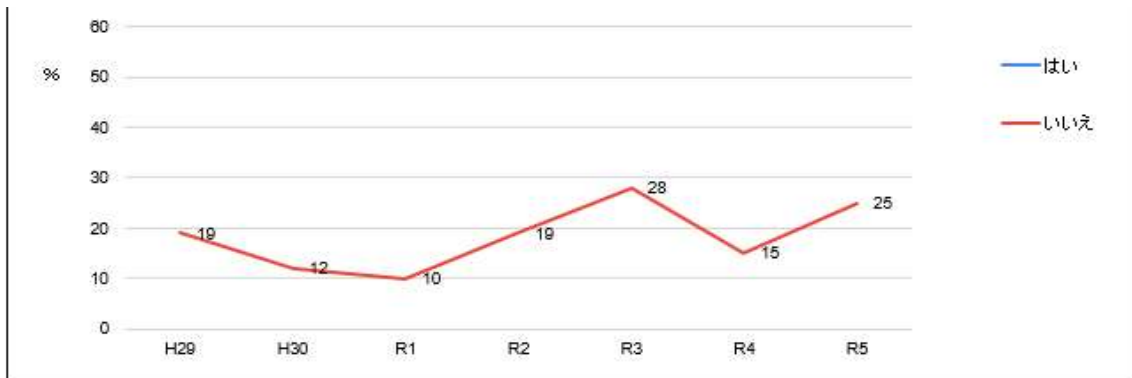
→「自宅で課題」が増加し39%

「学校時間外で宿題課題」が減少し20%

ハイ・ゲーム・他のことが忙しい 学校で完結した 課題が少ない

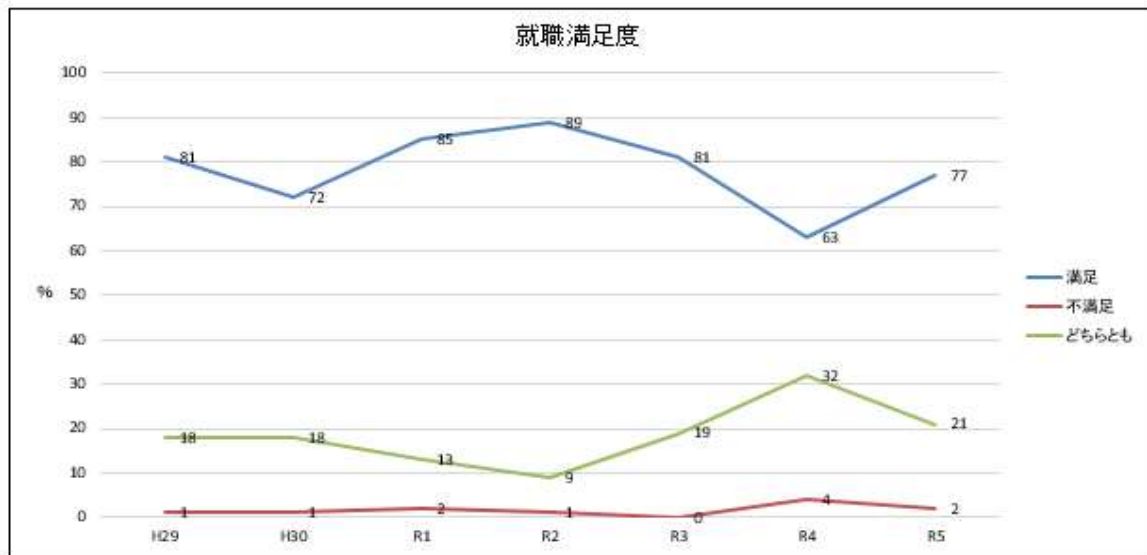
2-(オ)アルバイトをしたか





→アルバイトをした学生は75% 週平均4日勤務

3 就職満足度

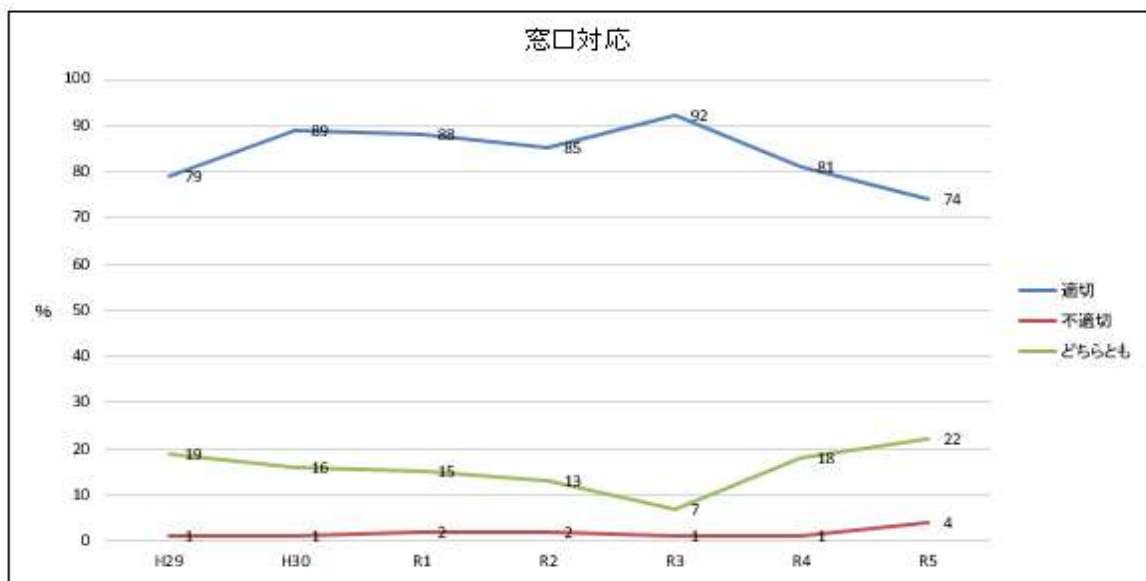


→「満足」が昨年度に比べて増加し、77%
「どちらとも」が低下し21%

満足 資格取得に満足 希望の会社に内定 楽しい話や就活を手伝ってくれた スキルアップできた
 不満 もう少し学生で良かった 進級が未確定
 どちらでも 専門学校が募集対象でない企業がある 漠然とした不安 働いてみないとわからない

建設工学部	設問番号	課題	背景	→	具体的な解決策
	3	将来に対する不安や、就職活動の進め方を理解していない学生がいる。	1年次に7時間ほど使い、進路についての学習（建設業界について、進路指導の進め方、履歴書の書き方、面接の受け方などの指導を行っている）	→	現在より進路指導の時間を増やし、ファイルにプリントを綴じさせるなどして活用させる。

4-① 窓口対応



→「適切」は74%

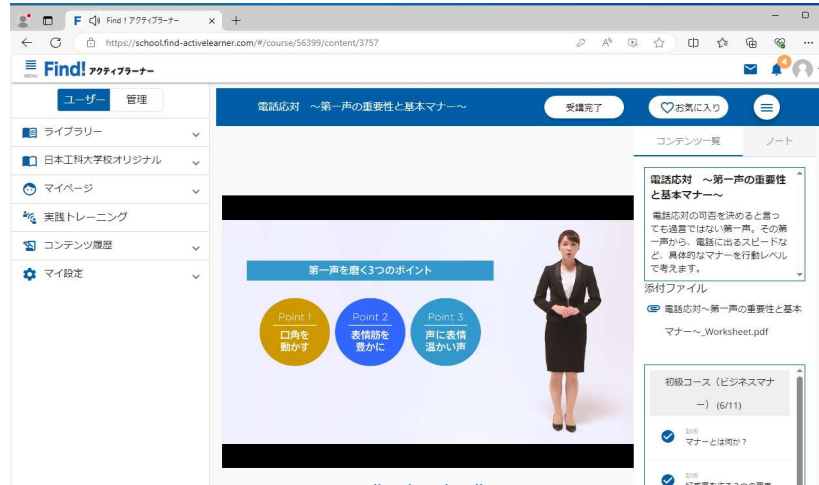
近年「どちらとも」が増加傾向で22%

丁寧・親切・優しくわかりやすい 対応が早い
上から目線 学割の発行ミスあり

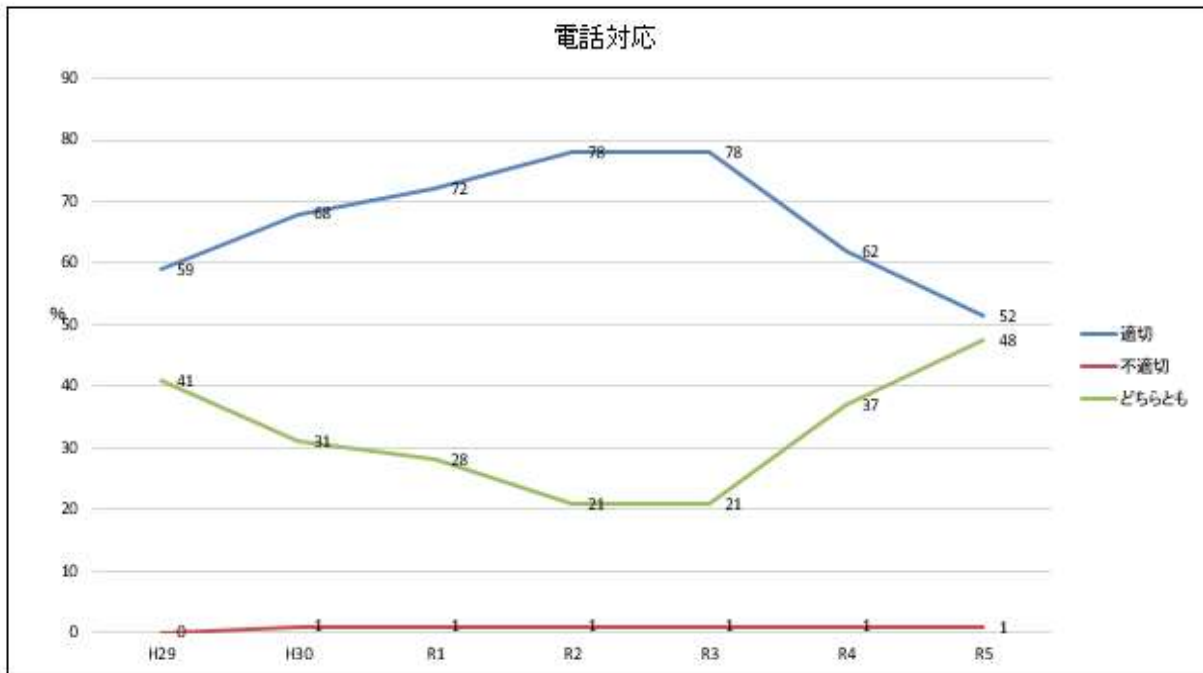
総務			
設問番号	課題	背景	具体的な解決策
4-①	学生から「冷たい」「怖い」「対応が悪い」「上から目線」という不運意見があった。 共通の窓口対応マニュアルがない。	個人の力量に任されている部分が多く、新しい人に共通に学ぶ機会を持つことができていない。	Find! アクティブラーナーや他の研修会に参加し、窓口対応の基礎を学び実践する。 時間がかかる対応は待たせるのではなく、対応予約をする。 お互いの窓口対応を意識し、アドバイスをするなどOJTを実践する。

※Find! アクティブラーナーとは？

URL : <https://school.find-activelearner.com/#/course/56399>



4-②電話対応



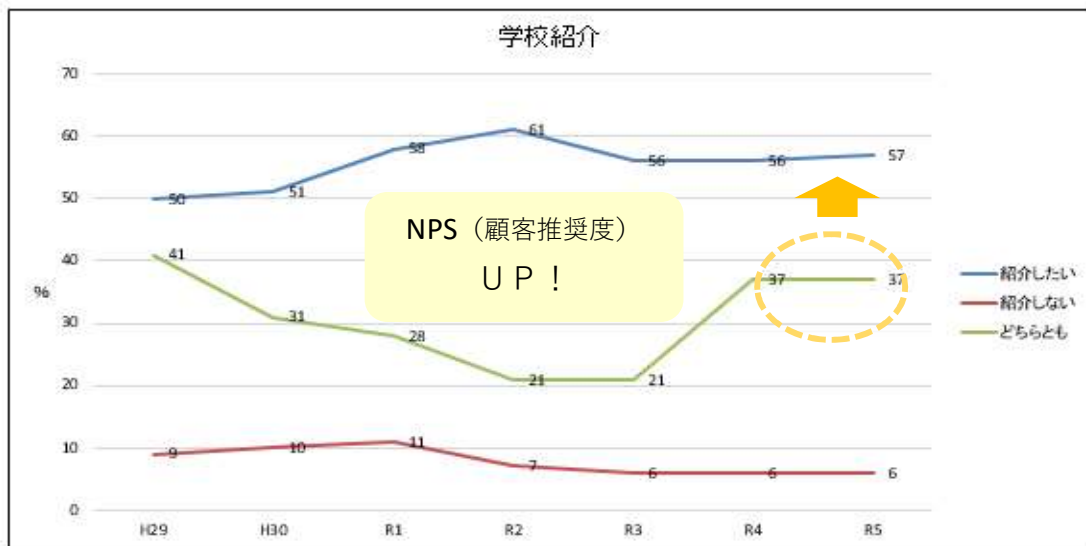
→「適切」は52%

近年「どちらとも」が増加傾向で48%

丁寧・わかりやすい・受け答えが丁寧
電話したことがない

設問番号	課 題	背 景	具体的な解決策
4-②	共通の電話対応マニュアルがない。	個人の力量に任されている部分が多く、新しい人に共通に学ぶ機会を持つことができていない。	Find! アクティブラーナーや他の研修に参加し、電話対応の基礎を学び実践する。 電話対応の定型をマニュアル化し、メモ、復唱を実践する。

5 学校を紹介したいと思うか



→昨年度同様「紹介したい」が57%

「紹介しない」「どちらとも」も昨年度と同様

素晴らしい学校 資格に熱心 授業が充実 頑張る人には良い学校 設備も充実 いろんなことを学べる
パンフレットと違う 勉強に意欲がない学生が多い インターンシップが聞いていた話と違う

建設工学部			
設問番号	課 題	背 景	具体的な解決策
5	パンフレットと違うのはインターンシップ300時間と教育充実費かと思われる。	建設業協会や設計協会がコロナ以降、中止となったり短縮の措置をしている。教育充実費については、在校生へ校長が説明した。	個別に設計関係企業や建設業協会へインターンシップの実施をお願いする。教育充実費については幹部方から文書や口頭説明をし理解を図る。

一級自動車工学科				
設問番号	課 題	背 景	→	具体的な解決策
5	設備を新しくするといろんなことができる。新しいものを導入して欲しい	学生数が増え、実習では少し手狭になってしまっており、一人当たりの触れる機会が少なくなってしまっていた。また、実習で実施できる内容にも制限ができていた。	→	新実習棟ができ、実習に関しては充実した内容で今後実施していきます。また、新しい内容の実習も導入にします。特定整備に関する技術、知識も必須になるので対応した車種、必要な外部診断機を増やす OBD車検等時代に合わせた実習にする
5	値段以上に価値のある授業に感じない	資格取得や就職については満足している部分があるが、プラスαで何か得られるものを求めている	→	専門知識だけの授業ではなく、問題解決能力や人間力を養えるような授業も行う。価値のある授業=即戦力に繋がる技術や知識が身につくと実感できる 理解度に応じた故障探求の学校独自の実習認定制度導入
車体・カスタム自動車工学科				※必要に応じてセルの高さや個数を変えてください。
設問番号	課 題	背 景	→	具体的な解決策
5	駐車場が狭い。	以前、雨天時に契約駐車場に駐車し帰宅時に車両廻りが水たまりになり乗車する際靴が濡れてしまったという苦情があったり、狭くて乗り降りの際、隣接車ドアが接触するといった苦情があった。		駐車方法の再検討など。例えば普通車と軽を交互に駐車する等。

2023年度学校自己評価結果

- 1 評価実施日：2024年3月14日～18日
- 2 評価者：正規職員48名
- 3 評価基準とポイント
A：そう思う（4ポイント）、B：おおむねそう思う（3ポイント）
C：あまりそう思わない（2ポイント）、D：そう思わない（1ポイント）
- 4 平均ポイント（ポイント計算方法）：合計ポイント数÷評価人数×25
- 5 自己評価結果（平均ポイント）

1 教育理念・目的・人材育成像（5項目）	A	B	C	D	?	2023年度ポイント	2022年度ポイント	2022年度との比較	年度 83
ア 学校の理念・目的・育成人材像が定められている	21	23	1	0	1	86	92	-6	
イ 教育目標は、専門分野の職業教育の特色を示している	25	20	0	0	1	89	91	-2	
ウ 育成人材像は、業界のニーズを踏まえて方向づけられている	19	23	1	0	3	85	91	-6	
エ 当校の将来構想は、社会のニーズ等を踏まえて示されている	20	22	1	0	3	86	90	-4	
オ 学校の理念・特色・将来構想などが学生・関係業界・保護者等に周知がなされている	6	23	7	4	6	69	80	-11	
インターシップを取り入れて、実務経験をさせ、イメージをさせる必要がある									
保護者に対しての情報発信が少ない									
経営理念検討会にて話を進めている。									
3現主義を現代に合わせて5現主義にし、問題解決力向上などを追加した方がよい									
学生への人間的教育に薄さを感じる									
具体性と実現性のある教育理念(共通認識・ルール)が必要									
学校の理念をホームページでの掲示、学生・保護者への配布物等で発信する									

2 学校運営（12項目）	A	B	C	D	?	2023年度 ポイント	2022年度 ポイント	2022年度 との比較	
ア 具体的な学校運営・経営方針が策定されている	13	29	2	0	2	81	90	-9	
イ 経営計画書の方針に沿って各種の事業計画が策定されている	10	33	1	0	2	80	90	-10	
ウ 意志決定機能である校務運営委員会は、有効に機能している	10	23	5	0	8	78	85	-6	
エ 就業規則、給与規定は整備されている	4	24	13	2	3	67	79	-12	
オ 管理部門、教育部門の職務分担組織は適切に整備されている	4	23	12	2	5	68	80	-12	
カ 文書決裁システムは、事務推進方法として有効に機能している	4	21	13	0	8	69	78	-9	
キ 環境整備するため各種の具体的な取組が進められている	8	29	7	0	2	76	86	-10	
ク 積極的に業務を改善する体制や雰囲気を整えられている	7	28	9	1	1	73	80	-7	
ケ 学校評価は、具体的な学校の課題解決に繋がっている	3	25	9	1	8	70	80	-10	
コ 学生から学校教育について評価する機会を設けている	10	18	5	1	12	77	84	-7	
サ コロナウイルス感染症拡大防止のための取組を行っている	9	25	9	1	2	74	88	-14	平均
シ 防火・防災に対する体制が整備されている	9	29	2	2	4	77	87	-10	74
仕事に人を付けていく体制の徹底とマニュアル作成・完備 学校行事や授業の準備など、無駄がないかを学部・学科で意見交換し、やることとやらないことをできるだけはっきりさせる 防火・防災設備について、各持ち場において場所や使い方などを確認する機会を設ける 特定の人に業務が集中している システム導入前、導入後の説明や情報共有が深まるとうまく連携できる									

3 教育活動（12項目）	A	B	C	D	?	2023年度 ポイント	2022年度 ポイント	2022年度 との比較	
ア 教育理念や法令に沿って体系的にカリキュラムが策定されている	7	30	1	1	7	78	85	-7	
イ 業界のニーズを踏まえた教育到達レベルを確保している	8	25	4	0	9	78	78	0	
ウ 自然災害や感染症等による休講を補い、所定の学修時間を確保している	20	18	1	0	7	87	88	-1	
エ 授業はアクティブラーニングの手法を取り入れ、実施している	6	22	6	0	12	75	81	-6	
オ デュアル教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発、企業内実習などが実施されている	6	23	4	0	13	77	84	-7	
カ 企業・業界との連携により、カリキュラムの見直しが行われている	6	21	5	0	14	76	83	-7	
キ 学生の学修に対する姿勢・態度の改善を指導している	5	32	4	0	5	76	85	-9	
ク 教員の授業を評価の実施し、指導方法を改善する取組を進めている	8	27	2	0	9	79	88	-9	
ケ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっている	10	19	6	2	9	75	84	-9	
コ 資格取得の指導は、カリキュラムの中での体系的に位置づけている	14	21	0	0	11	85	84	1	
サ 企業・業界等と連携し、外部講師を適切に招聘している	8	24	2	0	12	79	85	-6	平均
シ 先進的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われている	7	24	9	1	5	73	82	-9	78
学生アンケートを実施し学生ニーズと満足度などオープンにし、今後の改善点などに活かす 夏季、春季の学生休み期間を利用し、積極的にメーカー研修を受講できる体制をとる 業界関係者からの外部講師の積極的な誘致が必要 学生へのPCかタブレット購入及び使用する環境の整備が早急に必要 2025年度入学者にはPCかタブレットの使用を前提にカリキュラムを作る 新しい知識や技術を学ぶ研修会等へ参加する 自動車ディーラーやメーカーが行っている技術研修に参加する									

各科目のテストの平準化（国家試験合格レベルの難易度程度）等を取り入れる
人材の確保に力を入れ、各々専門分野の研修を実施する
インターシップ等の校外活動に、学生の選べる選択肢を作る
授業評価に対して改善がなされているかの定期的なチェックする

4 学修成果（5項目）	A	B	C	D	?	2023年度 ポイント	2022年度 ポイント	2022年度 との比較	
ア 就職率の向上が図られている	25	12	1	0	8	91	89	2	
イ 資格取得率の向上が図られている	19	19	1	0	7	87	89	-2	
ウ 退学率の低減に努めている	10	24	7	1	4	76	83	-8	
エ 社会人としての礼儀・マナー・生活態度の向上が図られている	5	33	2	2	4	74	80	-5	平均
オ 就職先企業等から当校の教育指導の成果や課題について意見を聴取している	8	13	3	1	21	78	81	-3	81
企業様から学生への教育課題など伺い、改善に活かす									
礼儀やマナーの教育が不十分である 新入生の入学時から礼儀やマナーの教育を行う									
資格を取ることで社会に出たときに得られるメリットを学生達に伝えて資格取得数増につなげる									
学生の就職先からのフィードバックを行う									
目で見てわかる成果物が制作し、PRする									

5 学生支援・学生指導（7項目）	A	B	C	D	?	2023年度 ポイント	2022年度 ポイント	2022年度 との比較	
ア 理解が不十分な学生に対して、補充授業を実施している	12	20	4	0	10	81	81	-1	
イ 進路・就職に関してきめ細かな指導がなされている	14	25	2	0	5	82	88	-5	
ウ 学生の悩み等の相談に適切に対応している	11	24	3	0	8	80	86	-6	
エ 学生に対する経済的な支援体制が整備されている	4	23	9	1	9	70	83	-13	
オ 学生の問題行動に対して、迅速に、厳格に指導している	12	29	1	0	4	82	86	-4	
カ 問題行動等のリスクを未然に防止する取組が進められている	6	30	4	0	6	76	83	-7	平均
キ 学生の学修・生活上の課題について保護者と適切に連携している	5	22	3	1	15	75	86	-11	78
問題のある学生との面談はもっと回数を増やす									
三者面談のタイミングを早めに実施する									
保健室やカウンセリング室を設けてカウンセラーなど専門家の相談機会を設ける									
学生の悩みの度合い（精神的なもの）等により担任ではカバーしきれない場合があり、カウンセラー等専門家に相談する機会を設け、退学者減少につなげる									
講師数が少なくフォローしきれない部分がある為、できる学生を伸ばし、できる子にできない子を教える環境をつくる。									
学生の進路指導や相談を受ける専用窓口を設置する									

6 教育環境（6項目）	A	B	C	D	?	2023年度 ポイント	2022年度 ポイント	2022年度 との比較	
ア 教員・職員は最も重要な人的教育環境の一つであることを自覚し、模範となる言動に努めている	11	27	7	0	1	77	86	-8	
イ 教員は、教育活動に対応できるよう配置されている	3	26	10	3	4	67	80	-12	
ウ 教室・実習棟は、教育活動に対応できるよう整備されている	7	23	10	2	4	71	76	-5	

エ	情報関係機器は、教育活動に対応できるよう整備されている	3	21	16	2	4	65	76	-12	
オ	備品や消耗品は、教育活動に対応できるよう整備されている	3	28	12	3	0	67	77	-10	平均
カ	学生寮や駐車場、駐輪場などの施設は適切に整備されている	3	18	20	3	2	62	78	-16	68
駐車場や駐輪場が足りない										
人的環境（人数）が整っていない										
実習を行うときに教員一人で対応することが多い										
教員らしい言動や授業テクニックはまだまだ足りていないと感じ、学び続ける										
インターネット環境が悪い 複合機が故障しやすい										
パソコンのスペックが気になっている（少々古いのでは・・・）										
食堂には昼食時、冷暖房をつけてあげてほしい										

7	学生募集・広報活動（5項目）	A	B	C	D	?	2023年度 ポイント	2022年度 ポイント	2022年度 との比較	
ア	学生募集活動は、経営計画方針に基づき、効果的に行われている	9	30	2	1	4	78	88	-10	
イ	学生募集活動は、関係部署と連携して適切に進められている	11	24	6	0	5	78	86	-8	
ウ	HPやSNS等のデジタルマーケティング・Web戦略は強化・充実している	7	26	8	1	4	73	81	-8	
エ	学校の特色ある教育活動を積極的に広報している	5	31	5	0	5	75	84	-9	平均
オ	高専連携の取組を積極的に行っている	16	21	0	0	9	86	85	1	78
昨年度は前年に比べ入学者が減少したので、広報、学部間で協力して取り組む必要がある										
00の前にあらかじめ広報と参加者についての情報共有するための打合せを行う										
マーケティングの専門家などを上手に活用した広報・募集を行う										
オープンキャンパスを少しでも学生獲得につながる内容を広報ともっと協力していく										
今年度より、広報と教員の事前の情報共有を密に進められる仕組みを進める										
SNSに関してまだまだ不十分な点が多い										

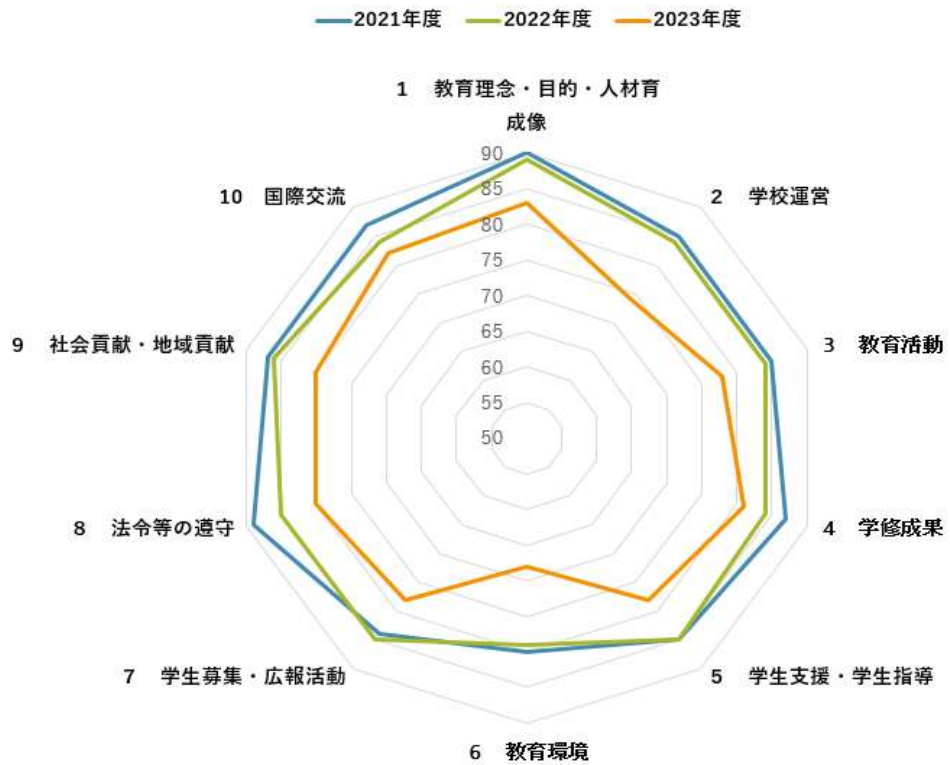
8	法令等の遵守（4項目）	A	B	C	D	?	2023年度 ポイント	2022年度 ポイント	2022年度 との比較	
ア	法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な運営がなされている	10	23	0	2	11	79	83	-4	
イ	個人情報厳密に保管し、紛失や漏洩がない	12	20	6	2	6	76	85	-9	
ウ	セクハラ・パワハラに関する言動はない	13	27	5	0	1	79	86	-6	平均
エ	法令違反や社会規範に外れるような行為はない	20	18	2	1	5	85	85	-1	80
勤怠管理については、時間管理の体制整備をした上でシステム導入、運用へ持っていきます										
学校に必要な設備基準や法令集などのリーフレットがあれば判断しやすい（わかりやすい）										
パワハラ、モラハラは人によっても違うので職場で研修会を開いて欲しい										
出席管理（デジタル出席簿）、敷地内禁煙（喫煙場所）、健康診断の全員受診										
防災管理、衛生管理、火災報知器が鳴ったときの対応を全員で理解・行動できるようにする										

9	社会貢献・地域貢献（2項目）	A	B	C	D	?	2023年度 ポイント	2022年度 ポイント	2022年度 との比較	
ア	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている	12	26	3	0	5	80	88	-8	平均
イ	地元地域に貢献するボランティア活動を行っている	12	27	1	1	5	80	84	-4	80
地域の方々に学校内を見てもらえるような機会を作り、本校の行っていることを知ってもらおう										

10	国際交流（2項目）	A	B	C	D	?	2023年度 ポイント	2022年度 ポイント	2022年度 との比較	
ア	日本再興戦略に基づき、産業発展の観点から、戦略的に留学の受入と教育を行っている	17	17	1	0	11	86	87	0	平均
イ	留学生の生活指導、学生指導、進路指導等について適切な体制が整備されている	10	25	5	1	5	77	82	-5	82

まだ組織として機能が完全ではない 今後ルール作りをし、誰がしても同じような判断ができるようにする										
合計	60項目	602	1436	300	46	376				
						平均	77	84	-7	

学校自己評価結果 2021～2023年度レーダーチャート



学校改善アクションプラン 2024

項目	目的	時間	活動内容
校門指導	・交通安全指導 ・挨拶	8:30～9:00	・月曜日：建設工学部、火曜日：A I工学部、水曜日：自動車工学科、木曜日：一級自動車工学科、金曜日：車体・カスタム自動車工学科
セブン指導	・交通安全指導	8:30～9:00	・必要に応じて関係課で実施
駐輪場指導	・交通安全指導 ・挨拶	8:30～9:00	・月曜日：日本語学科、火曜日：国際自動車学科、水曜日：国際コミュニケーション学科、木曜日：日本語学科、金曜日：国際自動車学科
駐車場の清掃	・環境整備	放課後	・毎週、金曜日の放課後等に学生が実施（雨天時は中止） ・1週目：建設学部、2週目：自動車工学科、3週目：A I工学部、4週目：一級・車体・カスタム自動車工学部
駐輪場の清掃	・環境整備	放課後	・必要に応じて関係課で実施
学生寮清掃と点検	・環境整備 ・学生寮管理	特に指定なし	・部屋の清掃点検とゴミ分別指導、共有部分やゴミ収集場所、自転車置き場の清掃・管理 ・月・水・金曜日：留学推進課
ハブアタリスキル&マナーの徹底	・人間力育成	常時	・ハブアタリスキル&マナー四箇条の遵守指導の推進 ・指導点検表の導入（自己評価と学科長評価） ・校務運営委員会での各学科の取組状況の情報交換の実施
			・衛生上問題のない紙類はゴミ箱に捨てず、収集してゴミ収集小屋に持って行く。（講師

紙類の再生 裏紙使用 電気の節約	SDGsの推進	常時	室、教室等に収集箱を設置) ・引き続き、裏面利用も徹底する。 ・使用しない部屋の電気、エアコンをこまめに切る。 ・全体の指導・管理：総務課
------------------------	---------	----	--

昨年度、意見交換からの検討事項

- 1 高校の先生は「探究」の経験が無いので何をしてよいのかわからない。STEAM教育と探究をわかりやすく身近なものにしたい。生徒に多くの体験をさせ、テーマを決めさせ、アプローチに注目したい。

本校の取組

昨年度、高専連携を3校と結び、T (technology) とE (engineering) の部分で出前授業やインターンシップ等で高校生が体験し学ぶ機会を持っている。

今年度も新たな高校と連携を結び、今、目の前にある(高校内)電気自動車の復活に向けて協働している。

本校のAI工学部では、AIの学びに必要な数学を情報数学I (Mathematics) として、大学の准教授を招聘し、週に2コマ授業を行っている。

- 2 『校内に食堂があれば…』と卒業生代表から意見があった。

本校の取組

過去の業者に連絡を取り、弁当販売の可能性を聞いた。コロナ禍前のこともあり、現在そのような計画はない、とのこと。

現状としてコンビニのパンやスナックの自動販売機、カップ麺の販売(お湯、箸付き)が行われ、学生から特に不満はない。

今後、弁当業者と学校をつなぐ、スマホのLINEアプリを使って簡単に注文できる弁当のIT化を進める。

授業評価表(2024年度版)

月実施

授業評価日時	月 日 I・II・III・IV
授業者名	
評価者名	
科目名	
学生数	

各項目

指示通りできている・・・○

指示通りできていない・・・×

1 授業の基本項目

評価項目	ポイント	自己評価	上司評価
机上に飲食物がない。	◎	0	0
机上や座席周辺が整理・整頓されている。	◎	0	0
携帯電話等は、授業で使用する以外はカバン等にしまっている。	◎	0	0
私語がない。	◎	0	0
学ぶ姿勢が良い(肘付き、足を投げ出す、寝ている)。	◎	0	0

不適切な行動・態度・姿勢には厳しく注意をしている。	②	0	0
小計	12	0	0
2 教員の基本的な指導技術			
学生目や表情を見て発問している。	②	0	0
発音が明確で、聞き取りやすく、言葉の速さも適切である。	②	0	0
適切な緊張感のある授業を行っている。	②	0	0
ほぼ毎回、実物を見たり触れたり、操作等を体験できる授業を行っている。	③	0	0
ほぼ毎回、ICTを活用した授業を行っている。	③	0	0
わかりやすい板書・スクリーン提示ができています。	②	0	0
フィードバックや小テスト等を授業ごとに実施し、学修の定着を行なっている。	④	0	0
学生の理解力や到達度に合わせた個別最適な学びを提供している。	④	0	0
小計	22	0	0
3 授業力向上			
Find! アクティブラーナーのコンテンツを週に1本以上（月に4本以上）視聴した。	③	0	0
それぞれの視聴したコンテンツのレポートを書き、共有した。	③	0	0
それぞれの視聴したコンテンツの内容を実践した。（上司面談で確認）	②	0	0
他の教職員の視聴レポートを読み、自分の考えと比較し、よりよい実践につなげた。（上司面談で確認）	②	0	0
小計	10	0	0
計	44	0	0

※「上司評価」は「1次評価者」が行います。

パブリックスキル&マナー指導点検表

・パブリックスキル&マナーは、学生が社会に出てまず信頼を得られる行動の一つです。しっかり理解させ、自然と振る舞えるようになるまで丁寧に指導をお願いします。

・「上司評価」は「1次評価者」が行います。

・担任教員は担任学級の指導状況、担任外教員は所属学年・学科の指導状況について点検してください。

【評価尺度】

※黄色のセルのみ入力

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 1点：指導したがあまり定着していない。 | 2点：概ね50%が定着している。 |
| 3点：概ね80%が定着している。 | 4点：全員が定着している。 |
| 5点：指導により完全に定着し、全員が模範的な学生となっている。 | |

クラス人数	人数係数	#N/A	月指導分	教員名		
指導・点検項目					自己評価	上司評価
【挨拶スキルの指導】						
①授業開始・終了時に分離礼ができているか。できてない場合はやり直させているか。						
②分離礼は、元気よく、気持ちを込めて発声しているか。						
③外来者や教職員に気持ち良く、自分から先に挨拶をしているか。						
④目上の人には、立ち止まって会釈をして、挨拶をしているか。						

⑤講印至、事務室に入るときは、挨拶をし、用件を言うているか。		
【交通ルール・運転マナーの指導】		
①道路交通法を違反するような違法改造はしていないか。 特にスマホ使用、ナンバーの改造、排気音		
②マナーを守って安全運転できているか。 カーオーディオの音量、校門付近及び駐車場内での徐行、無断駐車		
③駐車場の自動車内外や駐輪場で喫煙をしていないか。		
④道路交通法を違反するような自転車運転はしていないか。 並列走行、イヤホン音楽、スマホチラ見、傘さし、右側通行、信号無視		
【授業中ルールの指導】		
①座学の授業中で帽子をかぶったりフードをかぶっていないか。		
②授業中に無断スマホや私語をしていないか。		
【校舎内マナー】		
①大声を発したり、暴れたり、廊下を走ったりしてりしている学生を確認し、指導できているか。		
②歩行しながら飲食をしている学生を確認し、指導できているか。		
③上履き、下履きの区別や履物の片づけができているか。		
④廊下階段を通行の邪魔になるような広がり歩行をしていないか。		
⑤校内や学生寮でゴミの分別はできているか。		
⑥担任外や他科のマナー違反学生に指導ができているか。		
【喫煙マナーの指導】		
①喫煙は喫煙スペース以外でしていないか。 タバコを喫煙スペース以外で出すことも禁止、吸い殻のポイ捨て禁止		
②20歳未満の学生に喫煙禁止を指導したか。		
【危機管理の指導】		
①使用しない教室は、施錠、窓閉め、消灯、消冷暖を学生に報告させるとともに、教員自身も確認しているか。		
合計点数a	a'	a''
	0	0

合計点数(a' = 0) × 項目係数(#DIV/0!) = (b' = #DIV/0!)	#DIV/0!
(b' = #DIV/0!) × 人数係数(#N/A) = 確定c' (#DIV/0!)	
合計点数(a'' = 0) × 項目係数(#DIV/0!) = (b'' = #DIV/0!)	#DIV/0!
(b'' = #DIV/0!) × 人数係数(#N/A) = 確定c'' (#DIV/0!)	

注1) 合計点数：5点 × 20項目

注2) 項目係数
該当しない項目は空欄として、20問 ÷ 評価項目数 = 項目係数を算出する。
(例：20項目 ÷ 18評価項目 = 1.11)

回答項目数	
0	0
項目係数	
#DIV/0!	#DIV/0!

学校関係者評価委員会

2024年6月12日(水)

16:30~17:15

1 委員

委員名	所属等
三木健義	兵庫県建設業協会 姫路支部長 (欠席連絡あり)
立脇寛基	兵庫県自動車整備振興会 姫路事務所長
臼井研二	兵庫県立北条高等学校 校長
上月通男	兵庫県立尼崎工業高等学校 校長
大塚貴司	タックプロジェクト 代表
田中通子	保護者代表 (建設)
武内清	保護者代表 (車体自動車)
北詰央始	卒業生代表 (建設)
清水聖司	卒業生代表 (自動車)
黒木駿斗	卒業生代表 (AI) (欠席連絡あり)

2 事務局

氏名	役職等
中農海	理事長 法人本部長 経営企画部長
矢部宰文	校長 建設学部長
中農一也	理事 相談役
片山俊行	理事 国際学部長 教務部長
力丸進	自動車学部長 AI学部長
古河邦彦	総務部長

学校関係者評価委員会 会議録

会議名	令和6年度 学校関係者評価委員会
開催日時	2024年6月12日(水) 16:30~17:15
場 所	専門学校日本工科大学校
出席者	<p><委員> (計8名)</p> <p>・三木健義(欠席)・立脇寛基・臼井研二・上月通男・大塚貴司・田中通子(欠席)・武内清・北詰央始・清水聖司・黒木駿斗(欠席)</p> <p><事務局> (計6名)</p> <p>・中農海・矢部幸文・中農一也・片山俊行・力丸進・古河邦彦</p>
議題等	<p>[次第]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 委員紹介 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 趣旨説明 (2) 学生評価結果と改善への取組 (3) 学校自己評価結果と改善への取組 4 閉 会 <p><配布資料></p> <p>・次第・出席者一覧・多目的学校評価構造図・学校評価概念図・学生アンケート結果・2023年度学校自己評価結果・学校改善アクションプラン 2024・授業評価表・パブリックスキル&マナー指導点検表</p> <p>[内容]</p> <p>以下、次第に沿って会議が進められた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 理事長挨拶 3 委員紹介 4 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 趣旨説明 (2) 学生アンケートについて説明 <p>○授業と進路はあっているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの重要性を強調(コロナ禍で企業の受け入れが減少、見学だけ) ・自動車関連では、もっと車を解体、塗装したい ・授業のペースが遅い

- 新しい知識を得られたか
 - ・AI の部分をもっと学びたいという
 - 学生生活の充実度
 - ・昨年度よりも下がっているが例年並みで徐々に向上している
 - 出席率
 - ・コロナ禍以降、休むことに抵抗が少なくなっている
 - 社会人になるために再度指導が必要
 - 授業の参加・自主学習
 - ・多くの学生が授業には積極的に参加している
 - ・家庭での学習を重視する傾向がある
 - アルバイト
 - ・週平均4日働いている
 - 就職満足度
 - ・昨年度よりも上がっている
 - ・専門学校の卒業生を採用しない企業もあり、今後の課題
 - 窓口対応
 - ・年々評価が下がっている 対応の標準化を図り、改善に努める
 - 電話対応
 - ・同様に評価が下がっており、研修を通じて改善を図る
 - 学校を紹介したい
 - ・57%の学生が紹介したいと言っているが、どちらとも、が37%と多く、授業改善や学生生活の改善を図り、NPS がるよう取り組む
- (3) 学校自己評価結果について説明
- 学校の自己評価について教育理念や学校運営、人材育成など10項目について評価した。全体的に昨年度よりもポイントが下がっている。新しい職員が増えたこともあり、一概に悪いとは言えない。しっかり振り返り、学生の評価を反映させ、改善に努める。教育活動についての項目に、「？」マークが多く、校内での取組を広く説明できていないことを反省している。退学率の低減にも取り組んでいますが、まだ課題が多いです。
- (4) 昨年度の意見
- 「STEAM 教育」と「探究」を身近なものにしたい

近隣の高校と高専連携を結び、[T]と「E」の部分で協力している。今年も近隣の高校と連携して、電気自動車プロジェクトを進めている。AI 教育にも力を入れ、大学の准教授を招いて「M」を深める授業を行っている。
 - 校内食堂があれば・・・

UberEats のようなシステムを導入して学生により良い食事を提供できるよう計画している。

(5) 意見交換

(大塚委員) 学校のイベントが減少していることが学生の満足度に影響していると思う。

入学直後のウェルカムパーティーや学園祭など、学生同士が交流できるイベントが必要です。

→ 以前はやっていたが、コロナでなくなった。学生の自主性を促すため、イベントの企画を学生に任せることも考えている。徐々に復活させたい。

(立脇委員) 自動車整備業界は人材不足が深刻です。業界の魅力をもっとアピールし、専門学校の学生が増えるように努力したい。

→ 業界との連携を強化し、企業からの要望を取り入れて教育内容を充実する。

(北詰委員) 卒業生からのフィードバックをもっと取り入れるべき。業界での評価を基に教育内容を改善していくことが大切。

→ 卒業生の意見を積極的に取り入れ、教育の質を向上させたい。

(武内委員) 学生の積極性が減少していると感じる。やりがいを感じる授業やインターンシップを提供し、学生のモチベーションを高めることが必要。

→ 授業内容の改善やインターンシップの質向上に努める。学生のやる気を引き出す環境を作りたい。

(矢部) 貴重なご意見ありがとうございました。今後の改善に役立てたい。

5 閉会